

6章 図形と式

§2 2次曲線 (p.183~p.198)

問1

$$(1) \{x - (-2)\}^2 + (y - 1)^2 = 3^2$$

$$(x + 2)^2 + (y - 1)^2 = 9$$

(2) 原点を中心とする円は、半径を r とすると

$$x^2 + y^2 = r^2 \text{であるから, } (1, -1) \text{を代入して}$$

$$1^2 + (-1)^2 = r^2$$

$$\text{よって, } r^2 = 2$$

したがって、求める円の方程式は、

$$x^2 + y^2 = 2$$

(3) 円の中心の座標は、与えられた2点の中点だから

$$\left(\frac{6 + (-2)}{2}, \frac{1 + 7}{2}\right) = (2, 4)$$

半径は、この中心と点(6, 1)との距離だから

$$\sqrt{(6 - 2)^2 + (1 - 4)^2} = \sqrt{25} = 5$$

よって、求める円の方程式は、

$$(x - 2)^2 + (y - 4)^2 = 5^2$$

$$(x - 2)^2 + (y - 4)^2 = 25$$

問2

$$(1) (x^2 + 6x) + (y^2 - 4y) - 3 = 0$$

$$(x + 3)^2 - 9 + (y - 2)^2 - 4 - 3 = 0$$

$$(x + 3)^2 + (y - 2)^2 = 16$$

よって、中心(-3, 2), 半径4

$$(2) (x^2 - x) + (y^2 - 2y) + 1 = 0$$

$$\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4} + (y - 1)^2 - 1 + 1 = 0$$

$$\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + (y - 1)^2 = \frac{1}{4}$$

よって、中心 $\left(\frac{1}{2}, 1\right)$, 半径 $\frac{1}{2}$

問3

求める円の方程式を、

$$x^2 + y^2 + ax + by + c = 0$$

とおくと、この円が、与えられた3点を通るから

$$\begin{cases} 1 + 1 + a - b + c = 0 \\ 4 + 1 + 2a + b + c = 0 \\ 9 + 4 + 3a - 2b + c = 0 \end{cases}$$

整理すると

$$\begin{cases} a - b + c = -2 \\ 2a + b + c = -5 \\ 3a - 2b + c = -13 \end{cases}$$

これを解いて、 $(a, b, c) = (-5, 1, 4)$

よって、求める方程式は、

$$x^2 + y^2 - 5x + y + 4 = 0$$

また、この方程式を変形すると、

$$(x^2 - 5x) + (y^2 + y) + 4 = 0$$

$$\left(x - \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{25}{4} + \left(y + \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4} + 4 = 0$$

$$\left(x - \frac{5}{2}\right)^2 + \left(y + \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{10}{4}$$

よって、中心 $\left(\frac{5}{2}, -\frac{1}{2}\right)$, 半径 $\frac{\sqrt{10}}{2}$

問4

点Pの座標を (x, y) とすると

$$\begin{cases} AP^2 = (x - 2)^2 + y^2 \\ BP^2 = (x + 6)^2 + (y - 4)^2 \end{cases} \dots \textcircled{1}$$

$AP^2 + BP^2 = 42$ に①を代入すると

$$(x - 2)^2 + y^2 + (x + 6)^2 + (y - 4)^2 = 42$$

$$x^2 - 4x + 4 + y^2 + x^2 + 12x + 36 + y^2 - 8y + 16 = 42$$

$$2x^2 + 8x + 2y^2 - 8y = -14$$

$$x^2 + 4x + y^2 - 4y = -7$$

$$(x + 2)^2 - 4 + (y - 2)^2 - 4 = -7$$

$$(x + 2)^2 + (y - 2)^2 = 1$$

よって、求める軌跡は、

中心(-2, 2), 半径1の円である。

問5

楕円の方程式は

$$\frac{x^2}{6^2} + \frac{y^2}{5^2} = 1$$

$$\frac{x^2}{36} + \frac{y^2}{25} = 1$$

焦点の座標は

$$(\pm\sqrt{6^2 - 5^2}, 0) = (\pm 11, 0)$$

$$(\sqrt{11}, 0), (-\sqrt{11}, 0)$$

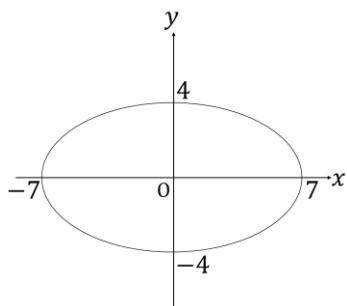
問 6

(1) $\frac{x^2}{7^2} + \frac{y^2}{4^2} = 1$ より, 焦点の座標は,

$$(\pm\sqrt{7^2 - 4^2}, 0) = (\pm\sqrt{33}, 0)$$

長軸の長さは, $2 \cdot 7 = 14$

短軸の長さは, $2 \cdot 4 = 8$



(2) 両辺を9で割ると

$$x^2 + \frac{y^2}{9} = 1$$

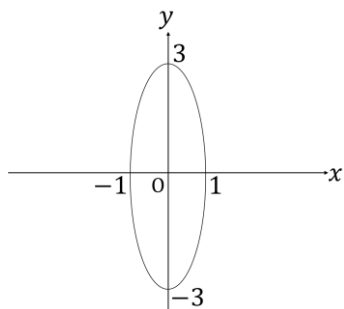
$$\frac{x^2}{1^2} + \frac{y^2}{3^2} = 1$$

焦点の座標は,

$$(0, \pm\sqrt{3^2 - 1^2}) = (0, \pm 2\sqrt{2})$$

長軸の長さは, $2 \cdot 3 = 6$

短軸の長さは, $2 \cdot 1 = 2$



(3) 両辺を9で割ると

$$x^2 + \frac{16y^2}{9} = 1$$

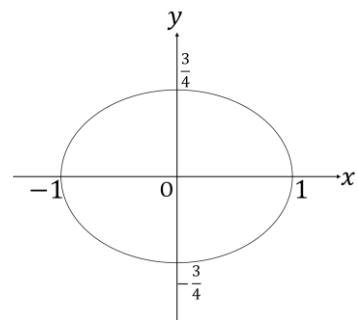
$$\frac{x^2}{1^2} + \frac{y^2}{(\frac{3}{4})^2} = 1$$

焦点の座標は,

$$\left(\pm\sqrt{1^2 - \left(\frac{3}{4}\right)^2}, 0\right) = \left(\pm\frac{\sqrt{7}}{4}, 0\right)$$

長軸の長さは, $2 \cdot 1 = 2$

短軸の長さは, $2 \cdot \frac{3}{4} = \frac{3}{2}$



問 7

長軸の長さを $2a$ とする.

また, $2b = 6$ とすると, $b = 3$ であるから,

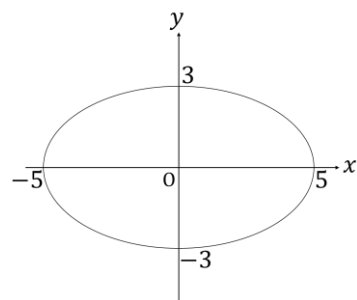
$$\sqrt{a^2 - 3^2} = 4$$

$$a^2 - 9 = 16$$

$$a^2 = 25$$

よって, 楕円の方程式は,

$$\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{9} = 1$$



問 8

長軸の長さを $2b$ とする.

また, $2a = 4$ とすると, $a = 2$ であるから,

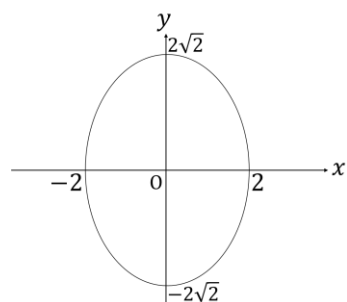
$$\sqrt{b^2 - 2^2} = 2$$

$$b^2 - 4 = 4$$

$$b^2 = 8$$

よって, 楕円の方程式は,

$$\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{8} = 1$$



問 9

$$(1) \frac{x^2}{1^2} - \frac{y^2}{1^2} = 1$$

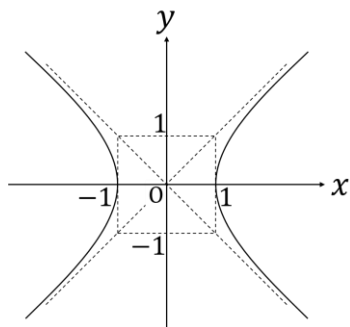
焦点の座標は,

$$(\pm\sqrt{1+1}, 0) = (\pm\sqrt{2}, 0)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{1}{1}x$$

$$y = \pm x$$

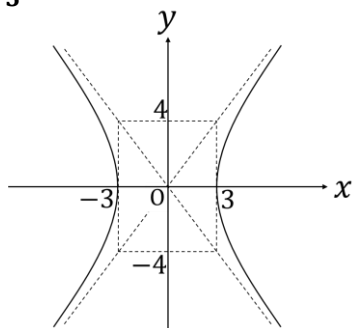


(2) 焦点の座標は,

$$(\pm\sqrt{9+16}, 0) = (\pm 5, 0)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{4}{3}x$$



(3) 両辺を9で割ると

$$x^2 - \frac{4y^2}{9} = 1$$

$$\frac{x^2}{1^2} - \frac{y^2}{(\frac{3}{2})^2} = 1$$

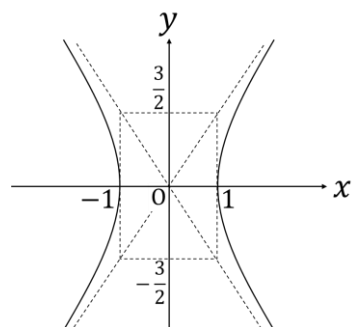
焦点の座標は,

$$\left(\pm\sqrt{1+\frac{9}{4}}, 0\right) = \left(\pm\frac{\sqrt{13}}{2}, 0\right)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{\frac{3}{2}}{1}x$$

$$y = \pm \frac{3}{2}x$$



問 10

$4^2 - 2^2 = 12$ より, 双曲線の方程式は,

$$\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{12} = 1$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{\sqrt{12}}{2}x$$

$$y = \pm\sqrt{3}x$$

問 11

$$(1) \frac{x^2}{1^2} - \frac{y^2}{1^2} = -1$$

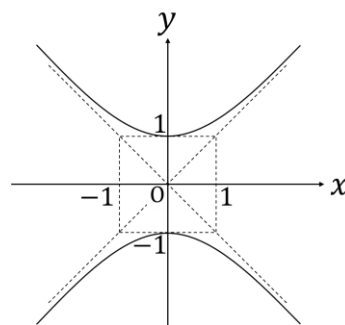
焦点の座標は,

$$(0, \pm\sqrt{1+1}) = (0, \pm\sqrt{2})$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{1}{1}x$$

$$y = \pm x$$

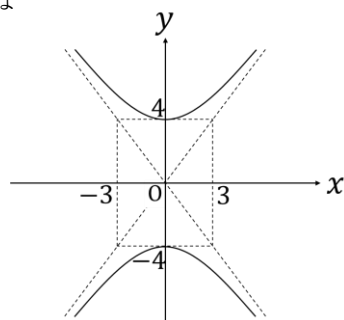


(2) 焦点の座標は,

$$(0, \pm\sqrt{9+16}) = (0, \pm 5)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{4}{3}x$$



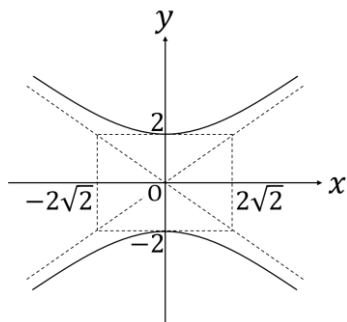
(3) 焦点の座標は,

$$(0, \pm\sqrt{8+4}) = (0, \pm 2\sqrt{3})$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{2}{2\sqrt{2}}x$$

$$y = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}x$$

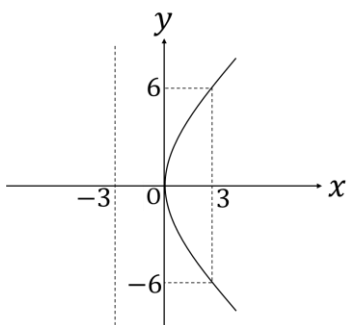


問 12

放物線の方程式は,

$$y^2 = 4 \cdot 3x$$

$$y^2 = 12x$$



問 13

(1) $y^2 = 4 \cdot 5x$ より,

焦点の座標は, **(5, 0)**

準線の方程式は, $x = -5$

(2) $y^2 = 4 \cdot (-4)x$ より,

焦点の座標は, **(-4, 0)**

準線の方程式は, $x = 4$

(3) $x^2 = 4 \cdot 1y$ より

焦点の座標は, **(0, 1)**

準線の方程式は, $y = -1$

(4) $x^2 = 4 \cdot \left(-\frac{1}{4}\right)y$ より

焦点の座標は, **(0, $-\frac{1}{4}$)**

準線の方程式は, $y = \frac{1}{4}$

問 14

$y = 2x + k$ を, $x^2 = -y$ に代入して整理すると,

$$x^2 = -2x - k$$

$$x^2 + 2x + k = 0$$

この 2 次方程式の判別式を D とすると, 直線が放物線に接するための条件は, $D = 0$ であるから,

$$\frac{D}{4} = 1^2 - k$$

$$= 1 - k = 0$$

したがって, **$k = 1$**

問 15

求める接線の方程式を, $y = -x + k$ とおく.

$y = -x + k$ を $x^2 - \frac{y^2}{4} = -1$ に代入して整理すると,

$$x^2 - \frac{(-x + k)^2}{4} = -1$$

$$4x^2 - (x^2 - 2kx + k^2) = -4$$

$$3x^2 + 2kx - k^2 + 4 = 0$$

この 2 次方程式の判別式を D とすると, 直線が双曲線に接するための条件は, $D = 0$ であるから,

$$\frac{D}{4} = k^2 - 3(-k^2 + 4)$$

$$= k^2 + 3k^2 - 12$$

$$= 4k^2 - 12 = 0$$

これより, $k = \pm\sqrt{3}$

したがって, 求める接線の方程式は,

$$y = -x \pm \sqrt{3}$$

問 16

(1) **$4x + 3y = 25$**

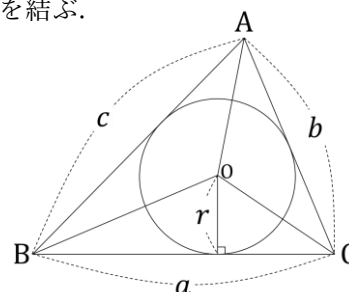
(2) **$-3x + 4y = 25$**

(3) $5x + 0 \cdot y = 25$

$$x = 5$$

問 17

下の図のように, 内心を O とし, O と $\triangle ABC$ の各頂点を結ぶ.



$\triangle ABC = \triangle OBC + \triangle OCA + \triangle OAB$ であるから、

$$S = \frac{1}{2}ar + \frac{1}{2}br + \frac{1}{2}cr$$

$$= \frac{1}{2}(a + b + c)r$$

問 18

3 辺の長さが 4, 5, 7 の三角形の面積を S とすると、

$$\frac{4 + 5 + 7}{2} = 8 \text{ であるから、ヘロンの公式より、}$$

$$S = \sqrt{8(8-4)(8-5)(8-7)}$$

$$= \sqrt{8 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 1}$$

$$= \sqrt{2^4 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 1}$$

$$= 2^2 \sqrt{2 \cdot 3 \cdot 1}$$

$$= 4\sqrt{6}$$

一方、内接円の半径を r とすると、

$$S = \frac{1}{2}(4 + 5 + 7)r$$

であるから、

$$\frac{1}{2}(4 + 5 + 7)r = 4\sqrt{6}$$

これを解いて、

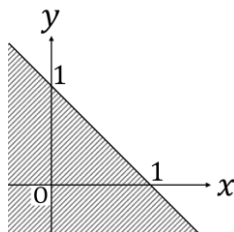
$$8r = 4\sqrt{6}$$

$$r = \frac{\sqrt{6}}{2}$$

したがって、面積 $4\sqrt{6}$ 、半径 $\frac{\sqrt{6}}{2}$

問 19

(1) 求める領域は、直線 $y = -x + 1$ の下側の部分である。

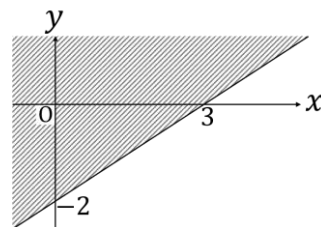


ただし、境界を含まない。

(2) 不等式を変形して、

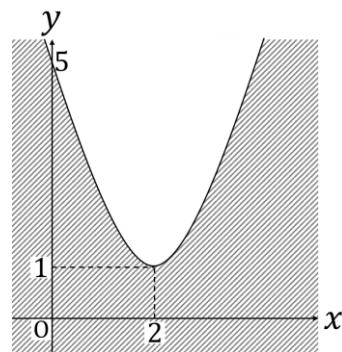
$$y \geq \frac{2}{3}x - 2$$

求める領域は、 $y = \frac{2}{3}x - 2$ の上側の部分である。



ただし、境界を含む。

(3) 求める領域は、放物線 $y = (x - 2)^2 + 1$ の下側の部分である。

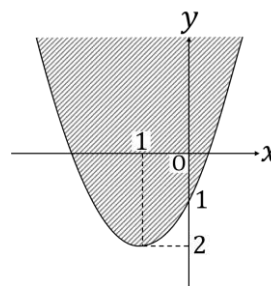


ただし、境界を含む。

(4) 不等式を変形して、

$$y > x^2 + 2x - 1 = (x + 1)^2 - 2$$

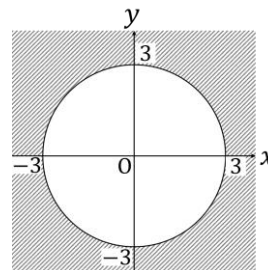
求める領域は、放物線 $y = (x + 1)^2 - 2$ の上側の部分である。



ただし、境界を含まない。

問 20

(1) 求める領域は、円 $x^2 + y^2 = 9$ の外部である。



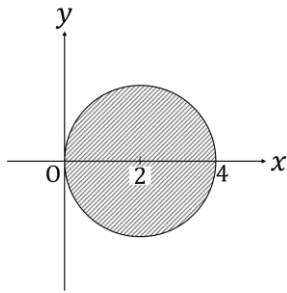
ただし、境界を含まない。

(2) 不等式を変形して、

$$(x - 2)^2 - 4 + y^2 \leq 0$$

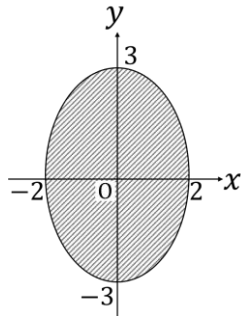
$$(x - 2)^2 + y^2 \leq 4$$

求める領域は、 $(x - 2)^2 + y^2 \leq 4$ の内部である。



ただし、境界を含む。

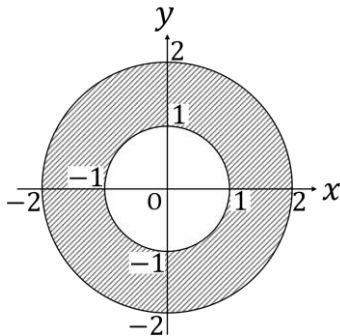
- (3) 求める領域は、 $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{9} = 1$ の内部である。



ただし、境界を含まない。

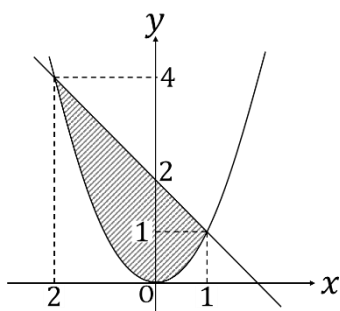
問 21

- (1) $x^2 + y^2 > 1$ の表す領域は、円 $x^2 + y^2 = 1$ の外部である。また、 $x^2 + y^2 < 4$ の表す領域は、円 $x^2 + y^2 = 4$ の内部である。
よって、求める領域は、2つの領域の共通部分であるから、図の斜線部分である。



ただし、境界を含まない。

- (2) $x + y - 2 < 0$ より、 $y < -x + 2$
これは、直線 $y = -x + 2$ の下側である。
 $x^2 - y \leq 0$ より、 $y \geq x^2$
これは、放物線 $y = x^2$ の上側である。
よって、求める領域は、2つの領域の共通部分であるから、図の斜線部分である。



ただし、直線部分の境界を含まず、
曲線部分の境界を含む。

問 22

- (1) 図の斜線部分は、原点を中心とする半径3の円の内部で、境界を含まないから、

$$x^2 + y^2 < 3^2$$

$$x^2 + y^2 < 9 \cdots \textcircled{1}$$

また、 x 軸 ($y = 0$) より上側の部分で、境界を含まないから、

$$y > 0 \cdots \textcircled{2}$$

①、②より、

$$\begin{cases} x^2 + y^2 < 9 \\ y > 0 \end{cases}$$

- (2) 図の斜線部分は、直線 $y = -2x + 2$ の下側で、境界を含むから、

$$y \leq -2x + 2 \cdots \textcircled{1}$$

また、直線 $y = x - 1$ の上側で、境界を含むから、

$$y \geq x - 1 \cdots \textcircled{2}$$

①、②より、

$$\begin{cases} y \leq -2x + 2 \\ y \geq x - 1 \end{cases}$$

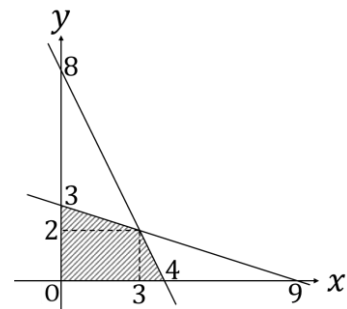
問 23

$$x + 3y - 9 \leq 0 \text{ より、} y \leq -\frac{1}{3}x + 3$$

$$2x + y - 8 \leq 0 \text{ より、} y \leq -2x + 8$$

$$2 \text{ 直線 } y = -\frac{1}{3}x + 3, y = -2x + 8 \text{ の交点の座標は、}$$

- (3, 2) であるから、4つの領域の共通部分は、図の斜線部分となる。



ただし、境界を含む。

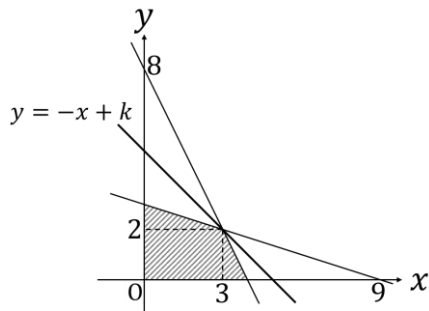
- (1) $x + y = k$ とおくと、 $y = -x + k$

この直線が図の領域と共有点を持ち、切片 k の

値が最大となるのは、この直線が点(3, 2)を通るときである。

よって、 $x = 3$, $y = 2$ のとき、 $x + y$ の値は最大となり、

最大値は、 $3 + 2 = 5$



(2) $3x + y = k$ とおくと、 $y = -3x + k$

この直線が図の領域と共有点をもち、切片 k の値が最大となるのは、この直線が、点(4, 0)を通るときである。

よって、 $x = 4$, $y = 0$ のとき、 $3x + y$ の値は最大となり、最大値は、 $3 \cdot 4 + 0 = 12$

